



南部町立南部中学校 学校だより R7 第20号

# 城山の風

令和8年2月19日(木)

校長 樋口 信也

## 新入生一日入学

2月6日(金)、来年度入学予定の6年生と保護者を対象とした新入生一日入学を実施しました。前半の全体会では、小学校とは違う点を中心に学校生活やきまりについて説明しました。後半は、児童と保護者に分かれ、児童は生徒会本部の案内で校舎や部活動見学をしました。例年は、校歌の練習もしましたが、インフルエンザが流行していたので、校歌合唱の動画を見してもらいました。この一日入学で少しでも不安が解消され、期待を胸に入学してくれればと思います。入学式は4月7日(火)です。



## 3年生最後の授業参観

2月10日(火)、3年生最後の授業参観と学年PTAを行いました。毎年、最後の授業参観は担任による道徳の授業を行っています。今年も矢野教諭と石原教諭が、思いやりをテーマにした「だれを先に乗せる?」という授業を行いました。

市街地から離れた場所で5人の乗客を乗せたバスが故障してしまいます。そこに車で通りかかったコジマさんが、自分の車で町まで乗せていけると言いますが、車には一度に3人しか乗せることができません。だれを乗せるか迷ったコジマさんは、最初は「笑顔のすてきな女性」・「おばあさん」・「お世話になった佐藤さん」を選びます。しかし、それでよいのかと考え、それぞれの事情を聞くことにしました。すると最初は選ばなかった「体格のよい男性」が、実は体調が悪く病院に行くところだということが分かりました。そして、今度は、女性(就職試験を受ける)・高齢者(ゲートボールの試合に出る)・男性(体調が悪い)を選びますが、人に会う予定だと答えた「怖そうな男性」にさらに聞いてみると、母親が入院して病院にお見舞いに行くということが分かりました。いよいよコジマさんは困ってしまいます・・・



生徒たちもコジマさんの立場になって、その都度だれを乗せるか考え、フリートークで意見交換をしました。山梨県では、豊かな心の育成ために「考え、議論する道徳」の質の向上をめざしています。今回の授業も「考え、議論する道徳」でした。世の中には答えが

1つではないことがたくさんあります。多様な他者と対話や協働する中で主体的に考え、自分なりに判断することができる力を身につけてほしいと思います。

なお、当日は大勢の保護者の方に参観していただきました。ありがとうございました。

## 大願成就のお守りをいただきました

2月13日（金）に「たすけあい・きららデイサービス」のみなさんから、大願成就のお守りをいただきました。中学校を巣立っていく3年生のために、高校合格をはじめとして、それぞれの願いが叶うようにと手作りしてくださいました。中に手書きのメッセージが入っていたり、折り鶴が添えられていたり本当に心のこもったお守りです。地域のみなさんに思っていたいことを改めて実感しました。ありがとうございました。



## 男子ソフトテニス部が県3位に

2月14日（土）、山梨県中学生ソフトテニス冬季研修大会が行われました。各チーム3ペアの団体戦で、約60チームが参加しました。予選リーグで1位になった本校男子ソフトテニス部は、1位トーナメントでも3回勝って準決勝まで進み、強豪若草に敗れはしたものの見事3位になりました。インフルエンザの流行もあって思うように練習ができない中での県3位、日頃の積み重ねの結果だと思えます。

## 3年生を送る会

2月18日（水）に、お世話になった3年生に感謝を伝える「3年生を送る会」を行いました。

生徒会本部によるオープニングから始まり、3年間を振り返るスライドを見ました。スライドには1・2年生の時に世話になった先生方からのビデオメッセージも含まれていました。そして、1・2年生からの贈る言葉と合唱『越えてゆけ』、記念品贈呈、最後は3年生からのお礼の言葉と合唱『正解』で締めくくりました。この3年生を送る会の取り組みテーマは「行動で示す」でした。1・2年生から卒業する3年生への、「あとは任せてください」という思いが十分示された会でした。

また、会自体もそうでしたが、終わってからの椅子の片付けの様子から2年生の成長を特に感じました。これからは自分たちが南部中を引っ張っていくという自覚が芽生えたと思います。

